

令和6年春季における園地確認のお願い
(中国産花粉を使用したりんご・なし生産者の皆様へ)

- ・令和5年度、りんご、なし生産に甚大な被害を及ぼす病害『火傷病』が中国で発生していることが確認されました。
- ・これまで、本病の発生報告はありませんが、侵入・まん延防止に万全を期すため、本病の症状を確認しやすい春季において、枝や果実に火傷病と疑われる症状が見られていないか、ご自身で確認の実施をお願いします。
- ・疑わしい症状を確認した場合は、JAや最寄りの農業農村支援センターに速やかに連絡してください。(確認方法は裏面)

●火傷病菌に感染した場合

- ▷現在、火傷病菌に対する有効な防除方法は確立されていない。
- ▷そのため、まん延防止対策として感染樹の伐採が必要となる。



火傷病による被害
(提供: Syngenta United States)

●調査対象について

- ①植物: なし属植物(日本なし、西洋なし)及びりんご属植物(りんご)
- ②園地: 令和5年度に中国産のなし属植物及びりんご属植物の花粉を使用した園地又は使用した花粉の由来が不明である園地

裏面の確認マニュアルをご確認ください。

なし・りんごにおける火傷病の確認マニュアル

～花や果実の確認～

開花から1～2週間後や幼果期に見られる症状です。

1回目の確認ポイント:開花から1～2週間後

○花全体がしおれて、**褐色又は黒色**になって枯れる。

○温暖多湿条件下では、花柄に白色～褐色、黒色の細菌泥が見られる。



花全体がしおれる様子

2回目の確認ポイント:幼果期

○幼果の表面にはりんごでは白色～褐色なしでは白色～黒色の細菌泥が見られることが多い。

→幼果の腐敗

〔りんごでの被害〕

(提供: Syngenta United States)



○果実は灰緑色、水浸状となり、やがて褐色又は黒色に枯れる。



→幼果のミイラ果症状

〔洋ナシでの被害〕

(提供: 三井物産株)

○枯れた幼果は**ミイラ果**となって樹上に残る。

病徴の写真については、以下もご参照ください。
農林水産省HP:「侵入調査マニュアル」で検索。

✓これらに該当する症状が確認された場合
✓本年度も中国産花粉を使用した場合



速やかに、以下の連絡先に通報いただきますようお願いします。

連絡先: 最寄りのJA又は県農業農村支援センター